

手話サークル
でんでん虫

会長 大林 雅美さん
会員 金澤 みゆきさん



でんでん虫は、田原市で手話入門講座が開始されたことをきっかけに、昭和60(1985年)年に設立。ろう者への理解を深めること、手話をたくさんの人に広めることを目的に、学習会や講演会を続けている団体です。

●手話を学び始めたきっかけは？

大林さん：ろう学校の教員だったので、当時から、生徒の保護者とオリジナルの手話を作ったりしていました。以来、少しずつ手話を学び続けています。

金澤さん：家族が仕事の都合で手話を習っていたことから、私も興味を持って習いだしました。

●手話を使った活動をしていて、やりがいを感じるのはどんな時ですか？

金澤さん：初めて自分の手話をわかってもらえた時は、「伝わった！」と嬉しかったことを覚えています。

大林さん：でんでん虫は、視覚障害者団体の「さくらんぼ」を見習って、市内の学校などでも手話を普及する講座を行っています。そのおかげか、最近若い方もたくさん顔を出してくれるようになりました。

皆さんが活発に手話で話す様子を見ると嬉しい気持ちになります。



◀手話を広めるイベントの練習風景。子どもたちも手話歌を練習し、活気があります。

●田原市がどんな地域になるとよいですか？

二人：田原市でも手話言語条例(※)の制定を目指してもらえたら嬉しいです。また、4月から事業者の合理的配慮が義務化されます(詳しくはP8)。市内では色々なイベントが開催されていますが、手話がたくさん取り入れられて、障害がある人でも楽しめる機会が多くなればよいと思います！

※手話は言語であることの認識の下、手話言語への理解促進および普及などの施策を推進することによって、誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指すための条例。

手話・要約筆記サークル紹介

手話サークル でんでん虫

活動日：毎週金曜
19:00～21:00

手話を学んだり、学校やイベントで手話を広める活動をしています。

手話サークル とまと

活動日：毎週火曜
10:00～11:30

手話を使って、聴覚障害者との交流を中心に活動しています。

みみ友たはら(要約筆記)

例会：第2・4土曜
13:30～15:30

文字や機器による聞こえのサポートで難聴者・中途失聴者に寄り添う活動をしています。

それぞれ、活動場所は、田原福祉センター ボランティアルームです。

参加希望など詳しくはお問い合わせください。 ▶田原市社会福祉協議会 ☎23-0610